

2019年度 第1回おべんきょう会報告

連日、暑い日が続いた7月30日（火）に保護者様向けのおべんきょう会を開催いたしました。今回のテーマはぶりんぐの療育の基本柱となる「TEACCH・ABAについて」の講義を行いました。

講義の様子&質問タイム



TEACCHの基本理念や構造化について、実際にぶりんぐの療育や日中一時で使用している物や部屋の配置など、実践例を写真で紹介しました。

参加していただいた保護者の方の感想・意見・要望

TEACCHについて写真など分かりやすかったです。それが、どういう特徴の子に対してのものなのかほりさげた説明があると、自分の子に置き換えて考えやすかったと思いました。TEACCHの考え方に共感できる部分は多いですが、やはり社会はそんなに甘くないという気持ちも少なからずあります。特にアスペルガーの場合自閉傾向がなく、ADHD併発が多いと思うのでどうしてもそういう方向に強いることがあるなど考えてしまいました。

発達障害児の幼児時代から成人するまで、支援や進学に伴い必要な事、どんな選択肢があるのか、やっておくこと、など長期的な見通し、流れが知りたいです。

鈴木先生の話しが聞きやすく分かりやすかったです。親も子供に対しての対応の仕方にもっと工夫が必要なんだと思いました。

娘への対応の仕方、考え方が分かってきました。

自閉症は脳の機能が違う。特性を文化と捉えるというのは、とても理解しやすかったです。自分の子どもには、刺激の調整として、リビングの玩具を構造的に片付けやすくしてあげ、遊ばない時は目隠しできるようにしてみたいと思いました。

問題行動なのか、スキルに無理がある場合など親だとなかなか求めすぎてありがただなーと思いました。専門家の協力は不可欠だと思いました。

ABAの図式化として表がありました。他の例も色々見たいと思いました。参考にしたいです。本人が理解出来る方法をもっと考えようと改めて思いました。

この他、同じような意見が多数ありましたのでまとめさせて頂きました。

今後のおべんきょう会で取り上げていけるよう検討していきます。

沢山のご意見、ご感想をありがとうございました。